

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

少子高齢化や人口減少に伴う労働力の減少が深刻化しており、定年延長や継続雇用制度の普及といった労働環境の変化により、全国的にシルバー人材センターの会員数は減少傾向にあります。

立山町シルバー人材センターの会員数も、ここ数年間は減少傾向にありましたが、いろいろな方策の成果もあって今年度は現状を維持することができました。

当シルバー人材センターの経常収益金額は88,371千円で、前年度より4,071千円の減となりました。これは主に新型コロナウイルス感染症の影響で、施設の受付業務や清掃業務、ホテルの清掃業務、公用車や福祉バスの運転業務などの減少や、草刈り、剪定会員の減少により受注件数、契約額がともに減少しています。

今後も、会員・役職員一人ひとりが知恵を出し合い、人との交流や社会とのつながりの場として、具体的に行動することにより地域社会に貢献し、活力を生むシルバー人材センターとなるよう努めていきたいと考えています。

1 会員の状況

令和3年度末の会員数は152名でしたが、新規入会者37名、退会者33名で、令和4年度末会員数は4名の増加となり156名となりました。

全国的な会員減少傾向のなか、会員募集の新聞折込や会員による一人一会員確保の推進、お友達紹介キャンペーンの実施などにより、会員の減少には一定の歯止めがかかったものと考えています。

なお、男女の内訳は男性92名、女性64名となっており、引き続き、新規の会員や女性会員の加入促進にも努力したいと考えています。

2 就業機会の拡充

(1) 就業機会の目標

就業率については、対前年比1.7ポイント増の、85.3%となりましたが、会員が希望する職種と受注業務の調整がつかない案件が見られることから、受注業務の新規開拓に努めていきたいと考えています。

受注件数は対前年比で629件減の968件、就業延べ人数は446名減の12,526名となりました。延べ人数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響で施設の送迎業務等々の受注減によるものです。

派遣とあわせた受注件数全体では、対前年比で630件減の978件、就業延べ人数では680名減の15,710名となります。

(2) 受託事業の状況

配分金受託事業収益は、前年実績を3,494千円下回る49,175千円(内部取引消去8,837千円)となりました。減少した要因として新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、就業延べ人数の減少が、配分金収入の減額になったものです。

3 安全適正就業の徹底

令和4年度は人身事故が5件、物損事故は1件、合わせて6件の事故が発生しました。前年度に比較し、同数となります。

「安全と健康は全てに優先させる」を基本理念として、安全教育や就業現場の巡回・安全パトロール等も実施していますが、依然として事故が発生しています。引き続き安全教育の徹底を図るとともに、指差呼称の実践などにより、事故の減少に努めていきたいと考えています。

4 総合公園施設の利用促進

屋内グラウンドなど総合公園施設の予約状況が総合公園ホームページから確認できるシステムを導入しています。パソコンやスマホから、施設の空き時間を確認できることから、空き時間を指定した予約が増え、予約利用全体の向上につながっていると思われます。

また、以前は窓口やファックスで提出していた抽選申込書が、総合公園のホームページから抽選申込みすることができるようになっています。

令和2年からドローンスクールが定期的に関講され、屋内グラウンドや多目的グラウンドが利用されています。

5 会員研修など

○ハラスメント研修会 12月15日 62名参加

○安全就業研修会・就業相談会 2月27日元気交流ステーション大会議室39名参加
令和4年度は、「シルバーの日」にボランティア活動を実施、その後、草刈機メンテナンス講習と花の寄せ植え講習会及び縄縛り講習会を開催しました。

6 コンビニ収納状況

平成29年4月から本格的に導入した作業代金のコンビニエンスストアでの取り扱いについては、作業代金支払者の約35%(金額では約18%)が利用され、利用できる店舗が多いことや取扱時間が長いこと、手数料が割安などで利用増につながっていると考えられます。また、令和3年9月よりペイペイ並びにラインペイの請求書払いも利用できるようになりました。引き続き、コンビニ支払いを推進していきます。